年度 平成16~18年度

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-1 社会ニーズに対応した行政運営を行う

(所管課名 総務部広報情報課)

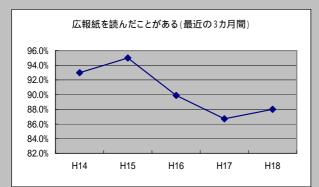
任務

市政情報を分かりやすくタイムリーに市民に周知する

任務の成果・活動指標の推移

広報紙を読んだことがある(最近の3カ月間)

H14実績	93.0%
H15実績	95.0%
H16実績	89.9%
H17実績	86.7%
H18目標	88.0%



市のテレビ番組を見たことがある(最近の3カ月間)

H14実績	43.0%
H15実績	38.0%
H16実績	40.6%
H17実績	35.0%
H18目標	37.0%

ホームページのアクセス件数(年間)

H14実績	5,285,000件
H15実績	7,772,502件
H16実績	10,500,000件
H17実績	10,955,272件
H18目標	11.500.000件

市のラジオ番組を聴いたことがある(最近の3カ月間)

H14実績	7.0%
H15実績	6.0%
H16実績	7.9%
H17実績	8.4%
H18目標	9.0%

指標の説明

市民に市政情報を分かりやすくタイムリーに提供するため、それぞれに特性をもつ広報紙・テレビ・ホームページ・FMラジオを指標と掲げた

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16~17年度

広報紙をはじめ、テレビ・インターネット・ラジオなど、各種広報媒体の「読んだことがある」「見たことがある」などの各指標は、ラジオを除き、測定値が減少してきている。 しかし、広報媒体としての広報紙は、多くの市民に読まれていることから、情報提供の手段としては、広報紙を基本に考え、それぞれの広報媒体の特性を生かした情報提供を行ってきた。

平成18年度

市民と情報を共有するために、各種市政情報をタイムリーに分かりやすく提供する。そのために、広報紙のリニューアルをはじめ、各種広報媒体の特性を生かしたきめ細やかな情報提供に努める。

これからの課題、施策等展開の方向性

これまで以上に企画、編集面で工夫を行い、市民が知りたい情報、市民に知らせたい情報を積極的に提供していく。また、情報提供システム(CMS)をさらに活用し、ホームページの充実を図るとともに、報道機関への効果的な情報の提供に努める。

なお、目的達成に向けて、各広報媒体を活用し広報 活動を行っているが、その効果を測定するため、市民 へのアンケートなどをさらに活用し、市民ニーズに対応 した広報活動を展開していく。